



2025. 10 No. 115

- ・持続可能な広葉樹材の供給に向けて（計画課）
- ・ナラ枯れ被害への対応について（檜山森林管理署）
- ・こんにちは森林官です！（鶴居森林事務所）
- ・美しの森 お薦め国有林 白金自然休養林（上川中部森林管理署）
- ・農林漁業信用基金の林業信用保証のご案内
- ・三笠市のアウトドアイベントに出展！
- ・土木における国産材活用編

林野庁



北海道森林管理局

持続可能な広葉樹材の供給に向けて

～天然林の機能を回復させる新たな施業方法の導入～

計画保全部計画課

【はじめに】

北海道森林管理局では、森林が有する公益的機能を将来にわたって持続的に発揮させることを目的として、計画的かつ継続的な森林整備を推進しています。これら取組の結果として、木材の安定的な供給を図り、地域社会への貢献に努めています。

今回は、北海道の国有林におけるこれまでの天然林施業および広葉樹材の供給の歴史を振り返るとともに、劣化が進行した天然林の機能回復を目的として、令和7年より試行的に導入している「樹群択伐天然林施業」についてご紹介します。

【北海道森林管理局における天然林施業の沿革】

戦後の復興期から高度経済成長期にかけて、国内における木材需要が急激に増加したことを受け、北海道の国有林では主に天然林を対象として木材の供給が行われてきました。当時の施業方法としては、対象となる樹木を個別に選定し伐採・搬出する「単木択伐」や、森林を皆伐した後に一斉に植栽を行う「拡大造林」が主流でした。

その後、段階的に天然林からの木材供給は減少し、2000年代の後半以降は、積極的には天然林を施業の対象とすることはなくなっていきました。

この背景には、以下のような要因が挙げられます。①当時は海外から高品質な広葉樹丸太を豊富に輸入できる状況にあり、国有林における広葉樹供給への期待がそれほど高くなかったこと。②絶滅の危機に瀕していたシマフクロウをはじめとする希少種が生育できる天然林を厳格に保全すべきという行政ニーズが非常に高まり、森林管理局としてこれに真摯に対応したこと。③天然林の伐採跡地に植栽した人工林が徐々に成長し、間伐等が必要な箇所が増加したことで、人工林の間伐や主伐・再造林に森林管理局の労力を傾注させるようになり、天然林については保全管理に重点を置くようになったこと。

【「樹群択伐天然更新施業」について】

一方、近年では地域から家具や伝統工芸の材料として広葉樹材の安定的な供給を求める声が高まりつつあります。また、稚樹が確実に更新される

樹群択伐天然更新施業が目指す姿



ササのみが生育する森林



階層構造がなく

高木層だけ残る森林



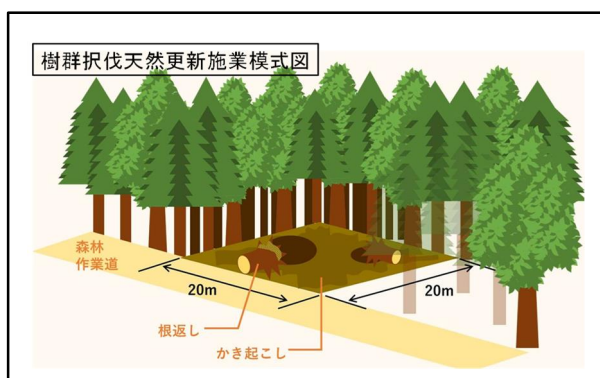
階層構造が発達し多様な樹種からなる
活力ある森林へ

など生物多様性の保全が図られるのであれば、天然林施業を通じた広葉樹材の供給は、資源の利用と環境配慮の両立を図りつつ森林の管理経営を行う点において、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献する取組となることが明らかになってきました。

北海道の国有林では、過去に択伐等の施業を実施した天然林の一部において、その後に稚樹の更新や生育が進まず、限られた樹種の老齢過熟木のみが残り、林冠が数十年にわたって開いたままの状態となっている箇所が見られます。このような森林では、公益的機能の劣化が懸念されます。

このため、北海道森林管理局では、こうした森林を多様な樹種や樹高から構成される森林へと誘導し、その公益的機能を回復させるとともに、施業の結果として生産される広葉樹材等を持続可能な形で供給していくことを目的として、「樹群択伐天然更新施業」の導入を検討してきました。

「樹群択伐天然更新施業」とは、およそ20m×20mの四角形を「樹群」という1つの単位と捉え、これをまとめて伐採し、伐採箇所の地表面にあるササなどの根茎を切断する「かき起こし」および伐根をひっくり返す「根返し^{ねがえ}」を行うことで天然更新を促進する施業方法です。



かき起こし作業

この規模で伐採を行う場合、伐採跡地の相対照度は30%程度となり、樹木の更新に有利な条件が整います。そのため、ミズナラなどの遷移後期種も更新できる可能性が高まります。ササもすぐには侵入してこないため、天然更新に伴う不確実性もかなり低減されます。さらに、雪腐れ病も回避できることから、エゾマツやアカエゾマツの天然更新も可能となります。このように、「樹群択伐天然更新施業」を実施することで、多様な樹種から構成される森林への誘導が期待されます。



(上)根返しした伐根の上に更新したカンバ類
(左)トドマツ稚樹
(ともに試験的に同施業を実施後3年目)

一方で、この施業方法ではシカの食害リスクを依然として低減できていないため、現時点ではシカの生息密度を見極めた上で、できるだけそのリスクの低い地域での導入を検討しています。

北海道の国有林では、この「樹群択伐天然更新施業」をまずは試行的に数か所で実施し、その結果を検証することで施業方法の改善を図りつつ、段階的な普及を目指しています。

地域課題の解決に向けた取組

ナラ枯れ被害への対応について

檜山森林管理署

【はじめに】

檜山森林管理署は、渡島半島の南西部に位置し、渡島総合振興局及び檜山振興局にまたがる2市8町を管轄しています。管轄区域の森林面積の約44%にあたる、約11万2千ヘクタールの国有林野を管理・経営しています。

当署管内には、渡島半島および松前半島の脊梁部を構成する乙部岳・七ツ岳・大千軒岳などの山々があり、天然林にはブナ林が広がっています。また、自生の北限とされるヒノキアスナロ（ヒバ）や南限とされるアオトドマツなど、北海道内でも特異な森林生態系が形成されています。

【地域の現状と課題】

近年、渡島半島南部では「ナラ枯れ」と呼ばれる、ナラ類を枯死させる病害が拡大しています。この病害は、カシノナガキクイムシが媒介する病原菌によって引き起こされるもので、令和2年に北海道で初めて確認されました。令和5年には実際の被害が発生し、以降、被害地域は徐々に拡大しています。当署管内においても、令和6年に北海道の国有林として初めてナラ枯れ被害が確認され、森林の健全性を脅かす深刻な課題となっています。



【取組状況】

○ナラ枯れ被害の把握

ナラ枯れの被害木は、夏以降に葉をつけたまま急速に枯死し、根元付近には特徴的な白い粉（フラス：木くず）が見られます。これらの症状をもとに、無人航空機やヘリコプターによる空中からの調査、林野巡視、現地踏査などを通じて、被害状況の把握に努めています。

○被害木の処理

ナラ枯れの被害木を放置すると、翌年にカシノナガキクイムシが羽化して未被害地域へ侵入するおそれがあるため、被害木については適切に処理が求められます。

令和6年に当署管内で確認されたナラ枯れの被害木については、すべて伐倒のうえ、薬剤によるくん蒸処理（殺虫処理）を実施しました。



【今後に向けて】

今後もナラ枯れ被害の拡大が懸念されることから、引き続き林野巡視を継続し、被害木の早期発見と適切な処理を徹底することで、森林の保全に努めてまいります。

こんにちは 森林官です！

根釧西部森林管理署 鶴居森林事務所

森林官 武田 太郎（写真右）



【管内概要】

鶴居村は釧路地方の中心部に位置し、広大な牧草が広がる酪農を基幹産業とする村です。釧路湿原国立公園の約3割を占める自然環境を有し、特別天然記念物「タンチョウ」の一大生息地としても知られています。村名の由来にもなっているタンチョウを目当てに、年間を通して多くの観光客が訪れています。

この豊かな自然の中で、鶴居森林事務所は村の森林面積の約4割にあたる約1万4千ヘクタールの国有林を管理しています。

【風雪に耐えた60年、遂に完成！新庁舎】

私が赴任した当時の庁舎は、築60年を超えており、昭和・平成・令和と地域と共に歩んできた歴史ある建物でした。しかし、近年は劣化が進み、外壁のモルタルは剥がれ、断熱材がないため夏は暑く冬は寒い。幹線道路沿いの立地により騒音もひどく、電話の音声も聞き取りづらい状況でした。見た目も傷んでいたため、住民から「廃屋」と間違われることも…。

そんな庁舎が令和6年、ついに新築されました。建物にはカラマツ材を原料としたCLTを使用し、地産地消にこだわった設計。屋根にはソーラーパネルを設置するなど、環境への配慮も万全です。



新築された鶴居森林事務所

11月の完成後には、村民の方々が見学を訪れ、鶴居村からはお祝いのお花もいただきました。

後日、署長とともにお礼に伺ったことも、心温まる思い出です。

【森林事務所での業務】

当森林事務所では、主に森林の現況を把握し、伐採計画の基礎資料となる「地林況調査（樹木の密度、生育状況、下層植生の種類、地形・傾斜など）」のほか、立木や丸太の生産・販売、伐採跡地への植栽や下草刈りなどの「監督業務」、また、「林道の簡易修繕（大雨による洗掘対策として鍬やスコップによる人力作業）」など、業務内容は多岐にわたっています。



雨天時の林道水切り作業（筆者）

その他にも、地域の窓口として、住民との信頼関係を築くことも大切な役割です。

【最後に】

新庁舎の完成により職員のモチベーションも向上し、森林官としての責任とやりがいを強く感じています。今後も係員との2名体制で力を合わせ、地域との橋渡し役として尽力してまいります。

皆様も、道東にお越しの際は、「日本で最も美しい村」連合に加盟する鶴居村へぜひお立ち寄りください。農山村の景観と文化を心ゆくまでお楽しみいただけます。

白金自然休養林

上川中部森林管理署

【白金自然休養林の特徴】

北海道の中央に位置する大雪山系には、標高 2,000m 級の山々が連なり、雄大な山岳景観を誇ります。その広大な山塊の南西に位置する十勝岳連峰の主峰・十勝岳（標高 2,077m）は、数多くの噴火記録を持ち、学術的にも貴重な泥流跡地や火口群を観察することができます。これまでの噴火の歴史を示す大小の火口の中でも、「62-2 火口」などでは、現在も活発に白い噴煙を上げています。

このような活火山・十勝岳の中腹から山麓（標高約 500m～1,000m）に位置する白金自然休養林は、「森林を主体とした風景に優れた地域であり、自然休養の場として、保健・文化の面で寄与する」ことを目的に、1971 年（昭和 46 年）に設定されました。

面積は 946.10ha で、自然観察教育ゾーン（147.51ha）・森林スポーツゾーン（318.76ha）・野外スポーツゾーン（23.50ha）・風致探勝ゾーン（456.33ha）の 4 つに分かれており、自然観察、森林浴、キャンプ、トレッキング等の機会を提供しています。

本休養林の森林は、過去の火山活動による泥流跡地が各所に見られ、アカエゾマツやダケカンバなどの針広混交林が広がっています。また、泥流跡地に再生したアカエゾマツやシラタマノキなどの二次植生を保護・管理し、学術研究などに資することを目的として、「十勝岳泥流跡地植生希少個体群保護林」が隣接地に設定されています。



原生林遊歩道

【楽しみ方】

白金自然休養林は、前述のように 4 つのゾーンに分かれており、子どもから大人まで楽しめるスポットです。各ゾーンには遊歩道が整備されており、四季折々の自然の彩りの中でレクリエーションを楽しむことができます。

見上げれば、十勝岳、美瑛岳、美瑛富士などの山並が広がり、雄大な山岳美を堪能できます。また、十勝岳の「望岳台」からは、十勝岳山頂を起点に、美瑛岳方面や富良野岳方面への縦走登山にもチャレンジできます。

冬季は閉鎖されますが、森林スポーツゾーンには野営場、ケビン、炊事場、トイレなどが整備されており、訪れる人々の憩いの場となっています。

さらに、エリア内およびその周辺では、年間を通じて山岳・ネイチャーガイドを実施している団体もあり、豊富なメニューを通じて季節に応じた森林体験や絶景ポイントを楽しむことができます。



白髭の滝



国設白金野営場内の様子



国設白金野営場内のケビン

《国設白金野営場施設情報》

○開園期間：5 月下旬～10 月上旬

○利用料金：

キャンプ（13 時～翌 12 時）大人 400 円 小人 200 円
デイキャンプ（9 時～17 時）大人 300 円 小人 150 円
ケビン（13 時～翌 10 時）1 棟 3,600 円（4 人用）

○駐車場：約 30 台（無料）

○お問合せ先：白金野営場管理棟

電話：0166-94-3209

農林漁業信用基金の 林業信用保証のご案内



- ・災害で設備が被災してしまった！再建したいが。。
- ・新たに会社を設立したけれど、まだ実績がなくて銀行に融資してもらえない…
- ・今まで造林・育林業を営んできたが、**素材生産業も始めたい**なあ…

このようなお悩みについて
公的保証制度でみなさまの資金調達をお手伝いします！

【林業信用保証の主な内容】(幅広い業種・資金を対象にしています。)

対象となる 業種	①造林・育林 ②素材生産 ③木材・木製品製造 ④薪炭生産 ⑤林業種苗生産 ⑥きのこ生産 ⑦木材卸売等※ ⑧木材製品利用※ ※⑦⑧は、北海道知事の認定を受けた計画に基づく制度資金のみ対象です。制度資金の利用については、道庁の林務担当部局にお問い合わせください。
対象となる 資金	・ 苗木、立木、資機材の調達費、燃料費、人件費、機械のリース料などの 運転資金 ・ 事務所・工場、林業機械、木材加工機械、運送用車両等の導入などのための 設備資金 (中古の機械等も対象です。)
保証料	・ 年0.15～1.80%と低位で、財務内容により適用されます。 ・ 日割り計算のため無駄がありません。 ・ 保証料が最大5年間免除になる保証メニュー も複数あります。

【保証のご利用にあたって】

保証については一定の審査がありますが、保証申込み前に融資機関を通じた事前相談をメール等でも受け付けることが可能です。
是非お近くの融資機関にご相談ください。

独立行政法人 農林漁業信用基金
電話 03-3434-7825(林業信用保証管理部)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



信用基金
ホームページ



9月5日（土曜日）～6日（日曜日）の2日間、三笠市の「ファミリーランドみかさ遊園」で開催された「MIKASA AMUSEMENT PARK OUTDOOR WORLD 2025」に、北海道森林管理局も出展しました。

皆さんは、アウトドア用品が防災用品として優れていることをご存じですか？寝袋やヘッドライト、ポータブル発電機など、災害時に活躍するアイテムがたくさん！このイベントは「アウトドアと防災」をテーマに、アウトドア用品の販売や各種体験プログラム、おいしいグルメ、野外ライブなどが楽しめる内容で、多くの来場者で賑わいました。

私たち北海道森林管理局は、森と防災のつながりをはじめ、森林の多面的機能や日々の業務について楽しく学べる体験コーナーと展示を用意しました。

【体験①ウッドボウリング】



三笠市産の、木材を使ったボウリングゲームです。地元の子どもたちが伐採した木を材料に、投げるピン用に5種、的のピン用に8種の樹種を用意しました。



参加者は、投げるピンを触ったり嗅いだりして、お気に入りの樹種を選びます。重みのある「イタヤカエデ」が人気で、その日の最高得点を目指して何度も挑戦する方もいました。

ウッドボウリングの参加賞として、自分が選んだ樹種の擬人化キャラカードをプレゼント！職員が手作りしたカードには、樹種の特徴がちりばめられており、全種類を集めようと頑張る方もいて、嬉しい反応がたくさんありました。



【体験②山火事消火ゲーム】



近年注目される山火事について、実際の消火活動を疑似体験できるゲームを用意しました。森林管理署の職員は、20kg近いジェットシューター（水タンク）を背負って山に入り、消火活動を行います。

今回は、火のイラストが描かれた的を制限時間内に倒すゲームで、ゲームを始める前には、山火事の原因についての解説も行い、ゲームにストーリー性を持たせました。



重たいタンクに驚く大人の参加者も多く、小さなお子さんは保護者とペアで挑戦。初めての試みでしたが、子どもから大人まで楽しんでいただけました。



【運営スタッフの声】



今回は、地元のイベントを盛り上げるため、空知森林管理署から署長と若手職員が運営に参加しました。

若手職員の小田島さんは、「想像以上に多くの方が来場されて驚きました。地域イベントに参加する楽しさと、職場の仕事を伝えられるやりがいを感じました。本当に楽しかったです！」と語ってくれました。



【最後にひとこと】

森林は私たちの暮らしと深く関わっています。今回のイベントを通じて、森の働きや森林管理局の仕事について多くの方に知っていただくことができました。

今後も、来場者の皆さまにご協力いただいたアンケートを活かしながら、森の魅力を伝える活動を続けてまいります。





おしえて
先生!

今回教えてくれるのは...

佐々木 貴信先生

北海道大学 森林科学分野

木材工学研究室 教授



土木における国産材活用編



先生!

どうして「土木」には
「木」の字が入って
いるんですか?

木は古くから人の生活の、インフラを整備する主要材料だったんだ。
高度経済成長期に、多くが鉄やコンクリートに置き換わった
けど、脱炭素社会の実現に向けて、近年は土木分野での木材
活用に、注目が集まっているよ。

事例① 橋梁への活用



木材の利点は、何といっても
軽い事。林道などの橋梁
(橋の床板)にもってこいだ。

設置するのにも
バックホウ1台で
吊下げられる。

鉄筋コンクリートの重さの1/4以下
だから、山奥など、輸送が
大変な場所でも、トラック
1台で運べるよ。

軽いから
土台となる橋桁の
本数も減らせるんだ

CLTは工場で作成するので
現地では設置して、ボルトで
とめるだけでOK!

軽さを活かして、
足場敷板
としても活躍!

Point!

今回の橋梁には

地元材の**CLT**を活用してる
クロス
ラミネーティッド
ティンバー
Cross Laminated Timber

③大きくて
変形に強い面材料
(CLT)の
できあがり!

ヨコ
タテ
ヨコ
タテ
ヨコ



①直交した
板材を

②接着して
圧をかけます



川の現場では、特に浮力がつくのでGOOD!



夏に暑くなりにくく

冬に融雪しにくいのも
ポイント

ドロドロに
ならない

事例② 地盤改良用の 丸太打設への活用

軟弱な土地に建物を安定して
建てる時に丸太を使うと、
様々な利点があるよ。



まず、やはり軽いこと。

一度にたくさんの材料を運搬できるし、
施工もしやすいよ。

地中で腐ったりはしないんですか？

軟弱な地盤は地下水位が浅いことが多い。
地下水位以深で酸素がない所では、
木材腐朽菌やシロアリは生息できないから、
地中での木材利用は究極の劣化対策なんだ。
最近の報告では**80年**経ても健全だったよ。

さらに！
(旧東京駅や農林水産省(旧海軍省)でも使用！)

そもそも、木は原木のときから杭の形をしてる
ので、加工にかかる環境負荷がとて少ない。

① 原木



ゴミが
全く出ない！

② 樹皮をむく



場合によっ
てがらせる

③ 完成！



樹皮は
バイオ燃料等
に利用



乾燥させず生木のままでOK！

さらに、重垂なのは、
木は成長の過程で
二酸化炭素を吸収・固定する事。

CO₂

CO₂

CO₂

炭素を固定した丸太を
地中で永く利用することは、
地下に森を作ると同じ。
脱炭素社会につながるんだ。

C

イコール



少資源国の日本で、木は
ちゃんと人が手を加えれば
50~100年で再生可能な資源。
年間6千万m³の成長が
見込まれている。

切って使った後はきちんと
次世代を育てながら
長く大切に
使っていきたいね。



各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

道内の森林研究・整備 機構の3機関と北海道 森林管理局が連携協力 協定を締結



【北海道森林管理局】

9月18日、北海道森林管理局において、森林の持続可能な管理と地域振興を目的とした「連携と協力に関する協定締結式」を開催しました。本協定は、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所北海道支所長、同林木育種センター北海道育種場長、同森林整備センター北海道水源林整備事務所長、林野庁北海道森林管理局長の4者によって締結されました。協定に基づく取組を推進し、地域の振興に努めてまいります。

襟裳国有林で枝打ち 体験を実施



【日高南部森林管理署】

9月10日、えりも町百人浜（襟裳国有林）において、えりも高校1年生による「百人浜に学ぶフィールド学習B（枝打ち体験）」が実施されました。この活動には、当署職員のほか、日高振興局林務課、えりも町役場産業振興課、えりも町教育委員会、ひだか南森林組合の職員がスタッフとして参加し、地域一体となって高校生の学びを支援しました。生徒たちは森林整備の重要性や林業の役割について学びながら、実際に作業しました。

「北海道エリア日立 グループの森」林業 体験活動の指導



【胆振東部森林管理署】

9月7日、むかわ町豊城にて開催された「北海道エリア日立グループの森」林業体験活動において、当署職員4名が枝打ち指導者として参加しました。今回の枝打ち活動は、昨年度に続き2回目の実施であり、むかわ町が推進する「企業の森林づくり」及び「木育」の施策の一環として行われました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、日立グループの社員及びそのご家族57名が参加し、カラマツの枝打ち作業を体験しました。

旭川市立北星中学校の 校外学習を実施



【上川中部森林管理署】

9月2日、旭川市立北星中学校2年生6名（男子4名、女子2名）が、「SDGs 2025 in旭川」と題した校外学習の一環として、当署を訪問しました。当署では、森林の現状や保全の取組、木材の持続可能な利用について説明を行い、旭川地域の森林資源の特徴や、地域に根ざした木材利用の重要性について理解を深めていただきました。生徒の皆さんは熱心に話を聞き、積極的に質問をするなど、高い関心と意欲が感じられました。

広報 「北の森林 国有林」10月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>



【今月の表紙 白扇の滝】

今月は、白扇の滝（恵庭市）の風景写真を表紙にしました。

真っ白な水が扇のように広がる様子は、まさに自然が作り出した芸術作品のようです。



今月の表紙